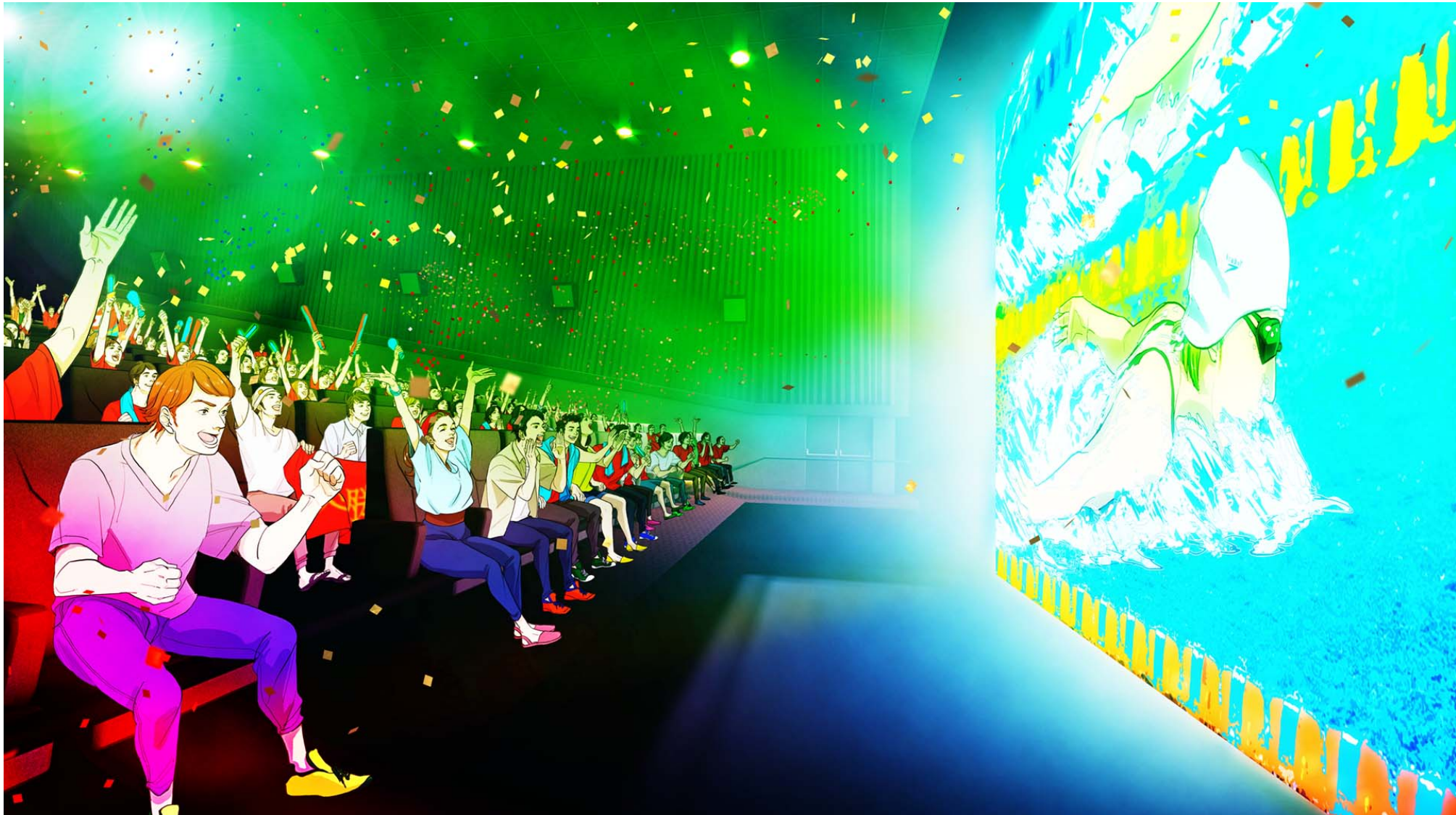


高度映像配信サービスの実現に向けた取り組み

(一社)映像配信高度化機構



- 名称 一般社団法人 映像配信高度化機構
 英文名: Next Generation Contents Distribution Forum
- 所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-4 FORUM赤坂4F
- 目的 4K/8K、3D、立体音響など次世代コンテンツの送受信に関する技術仕様を策定するとともに、大画面上映施設の普及推進を支援し、スポーツ、音楽、文化、教育など様々な分野で利活用できる環境作りに貢献する。
- 事業内容 総務省の「2020年に向けた社会全体のICT化推進に関する懇談会」のアクションプランにある、東京オリンピック・パラリンピックの際に4K8K大画面パブリックビューイングを実施し、多くの人々と感動興奮を共有できるようにするため、全国各地で4K8K大画面PVを展開し、上映施設の普及を推進支援する。さらに、2020年以降も4K8K上映施設を有効活用し、誰もが多種多様でリッチな4K8Kコンテンツを地元で手軽に楽しめる環境を作り出し地域創生にも貢献する。
- 代表理事 中村伊知哉 慶応義塾大学教授 副代表理事 今井純 NHK専務理事
- 会員社 17社(2016年10月現在)NHK、スカパー、電通、日テレ、NTT、WOWOW、イマジカ、NEP、J:COM、ソニー、東北新社、NEC、博報堂DY、パナソニック、富士通、キャン、凸版印刷。

映像配信高度化機構の事業ロードマップ

2020年東京オリパラまでに
高度映像配信サービスを
社会実装しショーケースとして
世界にアピールする

ラグビーW杯までに本サービスを実現

2019

2020

2020年までに全国各地域へ展開

2018

ビジネスとして開始できる環境を整備

2017

先行導入地域の一部では本サービス開始

2016

4K/8K高度映像配信サービスを
ショーケースとして体験できる

技術、運用規定、ノウハウ活用

検証結果活用

技術仕様検討

大画面PV検証

4K8Kシアター普及

映像配信高度化機構

4K8Kシアター事業者

コンテンツ制作者

通信・制作機器メーカー

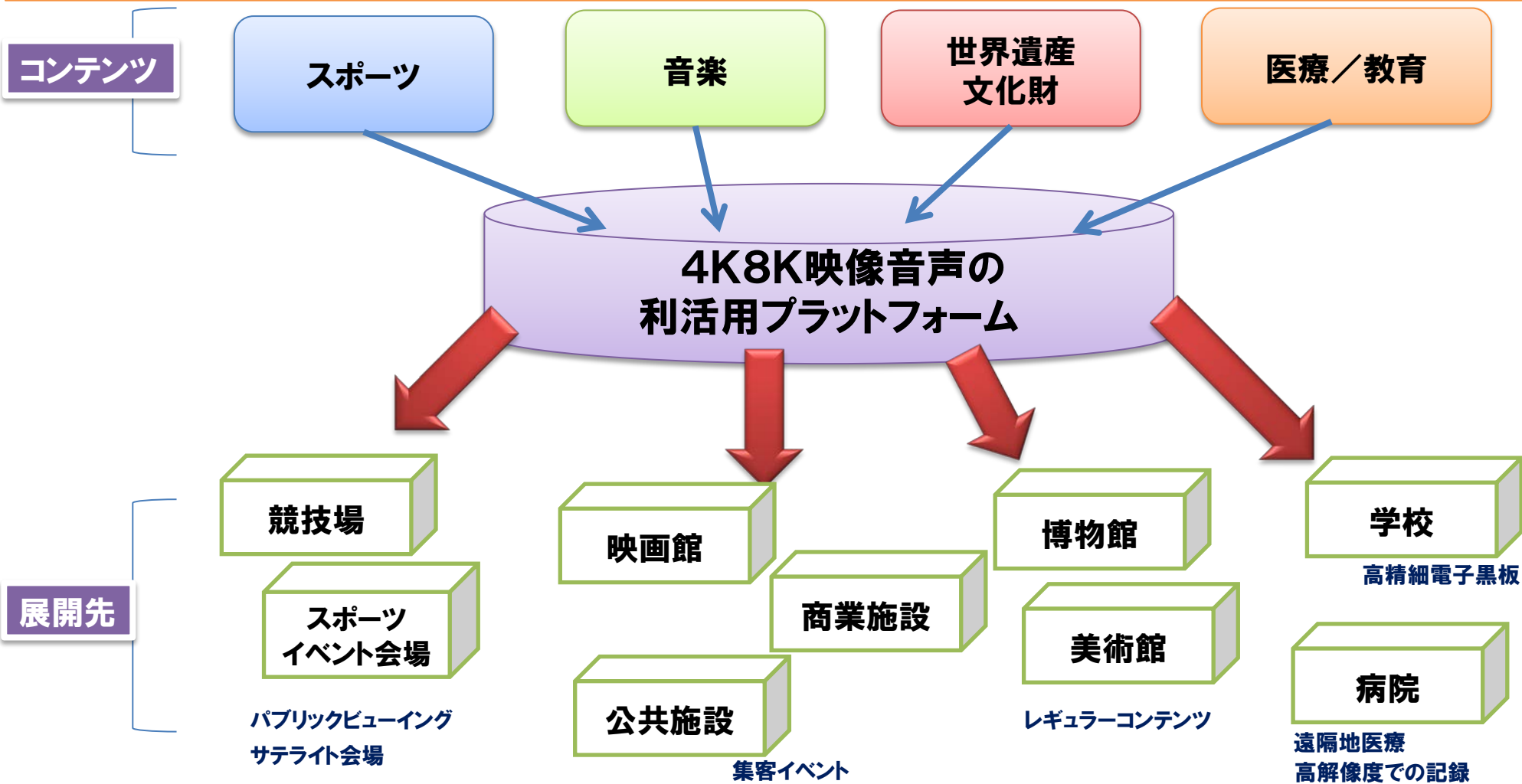
公共施設運営者

オールジャパン

通信事業者

商社・広告代理店

4K8K、3D等の高精細映像と、立体音響を体験できる大画面上映施設の整備をサポートする。衛星経由・ネット経由でコンテンツをやり取りする共通仕様等を定め、スポーツ、音楽、美術、科学、教育など様々な分野で4K8Kコンテンツを手軽に低コストで利活用できる環境を整える。



高度映像配信サービスの実現に向けた技術的、事業的課題の検証

技術的検証

配信方法

ネットワーク
(衛星、有線、無線 等)

プラットフォーム
(配信制御、コンテンツ保護 等)

配信形式
(フォーマット、圧縮率、
通信セキュリティ、誤り訂正 等)

上映方法

CMS／プロジェクタ連携
(DCP、ファイル形式等)

技術・運用標準の在り方の検討

事業性検証

コンテンツホルダ

コンテンツ提供モデル、
放映権許諾、サービス体系 等

上映施設

環境(プロジェクタ、スクリーン等)
導入・整備、及びコンテンツ確保
等に係る課題分析

利用者

利用意向、支払意向
等

高度映像配信サービスの実現に向けた検証【実施概要】

タイトル	概要	実施場所	コンテンツ	実施時期
ライブ型(専用回線) 8Kコンテンツ上映 に係る配信検証	大相撲九州場所(福岡市)と専用回線により接続し、競技場において8Kカメラ4台で撮影した映像・音声(8K映像・22.2ch音声)をMPEG-TS(帯域280Mbps)にて伝送し、会場において4KPJ×4台(300インチ画面)・22.2ch音響設備にてライブで上映。大画面において8Kライブ・コンテンツを上映する際に求められる帯域等について、調査・分析。	大分市内 音楽ホール	【ライブ】 大相撲九州場所	2016年 11月12～15日
ライブ型(衛星回線) 4Kコンテンツ(複数拠点) 上映に係る配信検証	劇場と複数の上映会場を衛星回線により接続し、4Kライブ・コンテンツを複数拠点に同時配信。衛星回線を介して、4Kコンテンツを複数拠点に同時配信する際の劇場での上映と同じタイミングで、地元にながらコンテンツを楽しめるサービスに対する事業性を評価。	全国3ヶ所 (調整中)	【ライブ】 ステージコンテンツ (予定)	2017年 3月中旬 (調整中)
ストリーミング型(専用回線) 4Kコンテンツ上映 に係る配信検証	4Kコンテンツが蓄積されたインターネット上のサーバから、専用回線を介してストリーミングによりコンテンツを配信し、施設に設置された4KPJにて上映。4Kコンテンツをストリーミングにより配信する際に求められる帯域等について、調査・分析。	東北地方 イベント施設	【アーカイブ】 ステージコンテンツ(演劇)	2017年 3月中旬 (調整中)
ダウンロード型(公衆回線) 4K・8Kコンテンツ上映 に係る配信検証	インターネット上のサーバに蓄積された4K・8Kコンテンツに、地方の博物館から公衆回線を介してアクセス・ダウンロードし、館内に設置された8KPJ×1台(280インチ画面)にて上映。公衆回線を介して、コンテンツを取得する際に要する時間、画質等の劣化や欠損等の有無、伝送コスト等を調査・分析。	九州地方 文化施設	【アーカイブ】 音楽、美術、伝統芸能、 教育等	2017年2月 (調整中)
擬似3D映像・立体音響 技術活用型コンテンツ 上映に係る技術検証	擬似3D映像・立体音響等の技術を活用した「超高臨場感」映像サービスの提供。「超高臨場感」サービスに対するユーザ体験の評価や、新たなエンターテインメント市場創出の可能性評価を行うとともに、技術課題を抽出・整理。	九州地方 公共施設	【アーカイブ】 文化・芸能関係	2017年 3月中旬 (調整中)
パブリックスペースにおける 4Kコンテンツ上映 に係る配信検証	パブリックスペースに設置されたデジタルサイネージに対して、4Kコンテンツを配信。4Kの表現特性を踏まえたコンテンツ表示の在り方、情報の視認性、コンテンツ別の発信形態に対する必要性、広告効果等について検証。	関東地方 パブリックスペース	【ライブ】 スポーツ中継 【アーカイブ/ライブ】 地元関連コンテンツ	2017年 2月下旬 (調整中)

高度映像配信サービスの実現に向けた検証【実施結果】

タイトル	概要	実施場所	コンテンツ	実施時期	来場者数	
ライブ型(専用回線) 8Kコンテンツ上映 に係る配信検証	大相撲九州場所(福岡市)と専用回線により接続し、競技場において8Kカメラ4台で撮影した映像・音声(8K映像・22.2ch音声)をMPEG-TS(帯域280Mbps)にて伝送し、会場において4KPJ×4台(300インチ画面)・22.2ch音響設備にてライブで上映。大画面において8Kライブ・コンテンツを上映する際に求められる帯域等について、調査・分析。	大分市内 音楽ホール	【ライブ】 大相撲九州場所	2016年 11月12～15日	12日	229名
					13日	209名
					14日	140名
					15日	186名
					合計	764名

